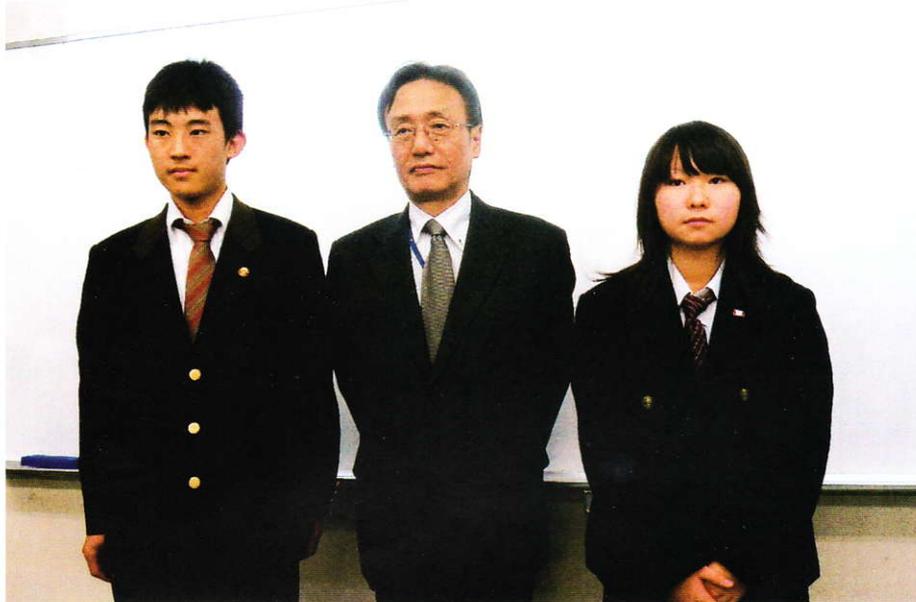


東日本大震災の被災された皆様に心からお見舞い申し上げます



写真は神奈川県大会で優勝した石井優弥さんと佐藤愛莉さん。中央は当協会の村上会長です。

第2回 神奈川県高校生溶接コンクール

兼 第2回関東甲信越高校生溶接コンクール神奈川県代表選抜大会開催

第2回神奈川県高校生溶接コンクールが平成22年11月13日(土)下記の要領で開催された。この催しは日本のものづくりを支える溶接技能の普及・啓発を図り、製造業の担い手育成を支援する目的において開催するものです。

主催 一般社団法人神奈川県溶接協会 ・後援 神奈川県工業高等学校長会
 協力 (財)日本溶接技術センター ・会場 (財)日本溶接技術センター

競技課題はJIS溶接技能評価試験・手溶接A-2F(板厚9mm・下向き・裏当金あり)と同じで評価は当日判定及び表彰という時間の制約があり外観試験のみで判定されました。

参加者は神奈川県内7校の工業高等学校の生徒13名が参加して行われました。

優勝は佐藤愛莉さん(県立横須賀工業高等学校)と石井優弥君(県立神奈川工業高等学校)が同点で二人優勝した。これにより第2回関東甲信越高校生溶接コンクールの神奈川県代表として参加することになりました。

尚、このコンクールに向けて平成22年8月18日～20日まで3日間にわたり生徒と教師の皆さんに向けての溶接の研修会を(財)日本溶接技術センターの協力を得て開催しました。生徒8名、教員4名が参加しました。

また、佐藤さんと石井君は3月28日～4月1日まで5日間春休みを利用して(財)日本溶接技術センターで関東甲信越高校生溶接コンクールに向けて特訓をしました。

このたびの大震災の影響で計画停電やさまざまな情報がある中でしたが、お二人は一日も休むことなく訓練に励まれていたことを会員皆様にお知らせいたします。

関東甲信越高校生溶接コンクールは平成23年4月23日(土)に川崎市川崎区池上町の溶接技術中央検定場で開催されます。

参加選手は関東甲信越地区の11溶接協会から推薦された22名の選手が参加します。

競技課題も評価方法も神奈川県大会と同じ内容になっています。

平成22年度(第56回)全国溶接技術競技会開催

溶接技量日本一を競う平成22年度(第56回)全国溶接技術競技会は(社)日本溶接協会・関西地区溶接協会連絡会・滋賀県溶接協会の主催により平成22年10月23日(土)に開会式・競技説明会を開催、24日(日)には競技会が雇用・能力開発機構滋賀センターにおいて開催されました。参加選手は被覆アーク溶接の部56名、半自動溶接の部56名合計112名の選手が全国都道府県代表として溶接日本一獲得を目指して技を競い合いました。

神奈川県代表は平成22年度神奈川県溶接技術コンクール被覆アーク溶接第1部、半自動溶接第1部でそれぞれ1位2位になられた各々2名合計4名の選手が参加しました。

代表選手の成績は以下のとおりです。残念ながら一位獲得にはなりませんでしたが選手の皆さんは大変健闘されました。被覆アーク溶接で2人ともに優秀賞を獲得し、炭酸ガスアーク溶接では二人とも残念ながら後一歩及ばず入賞を逃したものの大健闘を果たしました。

平成18年の被覆アーク溶接優勝と平成19年の炭酸ガスアーク溶接優勝の後、此処3年優勝から遠ざかってしまいましたが代表選手の健闘を讃え、また今後の大会に期待したいと思います。

平成22年度の優勝選手は下記の通りです。

被覆アーク溶接の部	最優秀賞	茨城県代表	軽部 国男	(株)日立製作所日立事業所
炭酸ガスアーク溶接の部	最優秀賞	愛知県代表	松浦 洋	(株)豊田自動織機トヨタL&Fカンパニー

平成23年度は10月8日9日・岡山県倉敷市三菱自動車工業(株)水島製作所で開催されます。

神奈川県代表選手成績

被覆アーク溶接の部

長谷川 優 優秀賞 4位
三菱重工業(株)船舶海洋事業本部

境 高志 優良賞 6位
三菱重工業(株)原動機事業本部

炭酸ガスアーク溶接の部

藤田 智大
富士電機システムズ(株)

後藤 清
(株)東芝京浜事業所



選手を囲んで付き添いの皆さんと
前列左から藤田さん、後藤さん、境さん、長谷川さん、村上会長



選手懇親会のアトラクション

探訪 「桜、そして横浜のシンボルを訪ねて」 新興プランテック(株) 志賀啓介

4月10日の快晴の日曜の朝、ワンコロ(犬)を車の荷台に放り込み、花見を楽しみにふらりと出かけました。桜を紹介するには少し時期が遅くなりましたが、暖かさを感じられるようになってきた麗らかな日に訪ねた「桜、そして横浜のシンボル」と題して、お薦めの場所をピックアップしてご紹介します。

まずは、車を走らせ小高い山の上にある「根岸競馬場跡」へ出発しましょう。桜の名所でもある「根岸森林公園」は、皆さんもよくご存じかと思いますが、競馬場の跡地に作られた公園です。場所的には、JR山手駅、根岸駅の間地点に位置します。

横浜は、色々なものの発祥地ですが、競馬場もまたその1つです。

「根岸競馬場」は、慶応2年(1866年)に建てられ、外国人クラブの主催で日本初の洋式競馬が行われた場所で、昭和18年(1943年)に戦争のため閉鎖されるまで多くの人々に賑わってそうです。その後、昭和44年(1969年)に土地を国から借り受け、なだらかな地形を生かし、大きな芝生広場を中心にした森林公園として昭和52年(1977年)に根岸森林公園として開園されています。

競馬場跡には、初代の木造建築に替わり建設(昭和4年/1929年)された国内で初の鉄筋コンクリート製の観覧スタンドが健在し、その重厚さに横浜の歴史を感じ取ることができます。歴史的な観覧スタンド、桜、晴れた日には富士山も望むことができるお薦めスポットです。

さて、ワンコロ(犬)も十分に散歩を楽しんだようですので、次の場所に出発しましょう。根岸の小高い山から車を走らせ、約15分「横浜港シンボルタワー」に到着です。

横浜港シンボルタワーは、本牧埠頭D突堤の広大な緑地の中に、昭和61年(1986年)完成しました。

タワーの高さは58.5mあり、横浜港に出入りする世界中の客船や貨物船が安全に航行できるように信号を送っています。

シンボルタワーには、港の風景を一望できる展望室があり、港の仕組み港湾の様子を初め、ベイブリッジを間近にまた遠くには、房総半島、三浦半島が見回すことができる絶好のビュースポットです。

また、溶接に関心の有る方なら、タワー正面の中央部にあるステンレス製の鋳造彫刻「遥かなるもの・横浜」が目にとまるでしょう。この鋳造彫刻は、縦・横6m、重さ15トンのステンレス製の鋳造彫刻で、溶接により細部が組み立てられています。



根岸競馬場跡 観覧スタンド
(平成23年4月10日撮影)



横浜港シンボルタワーとステンレス製鋳造彫刻
(平成23年4月10日撮影)

見学会の報告

去る2月23日、恒例の神奈川県溶接協会の見学会は50名の多数で千葉県市原市にある三井造船(株)千葉造船工場と羽田空港JAL機体整備工場を見学しました。ご協力頂いた企業の皆様にあらためて感謝申し上げます。

三井造船千葉造船工場は日本最初の大型船舶建造に対応する為に昭和37年に操業を開始された工場です。

1号ドック～3号ドックをフルに稼働して常に2艘の船舶を建造しているとの説明がありました。船の建造はまさに溶接なくしてありえないともいえるくらい溶接構造の塊といえるでしょう。

私たちは艀装中の船舶の船橋まで案内していただき、普段とは違う高いところから周囲の状況と遠く東京湾の景色も眺めることができました。

この後、バス車内で昼食弁当を食べながら羽田空港に移動し、JAL機体整備工場と新しく開設した新国際線ターミナルを見学しました。





1. サーベイランス申請と同時に記載事項の変更をする場合

- ①適格性証明書に記載された氏名、生年月日、自宅住所、勤務先名の変更は記載事項変更手数料1,050円がかかります。従ってサーベイランス料金 1,260円＋記載事項変更手数料 1,050円の計 2,310円となります。
- ②サーベイランス時に、紛失、破損による再発行申請が伴う場合は記載事項変更手数料は不要です。従って、サーベイランス料金 1,260円＋再発行手数料 3,150円の計 4,410円となります。
- ③サーベイランス時以外の時期に記載事項変更と再発行を行う場合は再発行手数料 3,150円となります。
- ④勤務先住所の変更及び通知先変更は、手数料は無料です。

2. 成績開示証明書（不合格などの理由について）問い合わせる場合

個人情報のプライバシー保護が厳しくなります。

手続きは、所定の用紙に記入して本人が直接東部地区溶接技術検定委員会に手数料1,050円を添えて郵送または持参してください。後日手紙でお知らせするようになっていきます。成績開示を受ける方は上記の検定委員会（044-299-3541）へ申し込んで下さい。

（写真全面貼付）

最近6ヶ月以内に脱帽で上半身を撮影したものを。

写真のサイズ

縦4.5cm×横3.5cm

パスポート用

証明書の写真になるので、上記サイズを厳守すること。なお写真貼付に際しては、必ず右肩を用紙に合わせて枠内に貼ること。

◎ 試験申込書に添付する写真について

写真は、試験申込書の写真貼り付け欄に黒い影で顔の大きさが描いてあります。その大きさの顔写真を貼り付けてください。最近6ヶ月以内に撮影したものです。写真が小さい場合は受付できませんので注意してください。また、写真が添付されていない場合も受付できませんので必ず添付してください。

更新試験（再評価試験）について

- ①更新試験の受験期間が次のようになっています。更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- ②更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっていきます。
- ③上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験（学科試験免除）で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- ④更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験（学科試験免除）扱いとなり②の扱いは受けられません。
- ⑤の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別にしてください。
- ⑤登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。新規受験になってしまいますのでご注意ください。更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- ⑥試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。16日以降の試験は翌々月末の発表です。

サーベイランス（継続試験）と更新試験（再評価試験）

溶接適格性証明書には登録年月日（発行年月日）と有効期限が記載されています。サーベイランスとは書類のみの手続きで試験はありません。有効期限の3ヶ月前から期限の日までに手続きをしてください。必ず有効期限の3ヶ月前に通知を出しています。最初（1回目）のサーベイランスをしないと2回目のサーベイランスの通知は行きません。サーベイランスは2回です。

サーベイランスを2回されると、次は更新試験（再評価試験）になります。実技試験を受け直して合格されると新しく証明書が発行されます。但し、1回目のサーベイランス又は2回目のサーベイランスをされないと更新試験の案内も行きませんのでご注意ください。



第2回関東甲信越高校生溶接コンクール開催速報

第2回 関東甲信越高校生溶接コンクールが平成23年4月23日(土)下記要領で開催されました。

この催しは日本のものづくりを支える若い方々に溶接技能の普及・啓発を図り、製造業の担い手育成を支援する目的において開催するものです。

主催 東部地区溶接協会連絡会 ・ 後援 (社)日本溶接協会 ・ 特別協力 産報出版(株) ・

会場 (社)日本溶接協会 東部地区溶接技術中央検定場 ・ 審査委員会 東部地区溶接技術検定委員会

尚 主催する東部地区溶接協会連絡会 とは関東甲信越地区の10都県にある11溶接協会（神奈川県・新潟県・長野県・山梨県・群馬県・埼玉県・茨城県・栃木県・千葉県・東京都2協会）の連絡会です。

競技課題はJIS溶接技能評価試験・手溶接A-2F（板厚9mm・下向き・裏当金あり）と同じで評価は当日判定及び表彰という時間の制約があるので外観試験のみで判定されました。

風雨の激しいあいにくの空模様でしたが高校2年3年の若い方々は大変緊張されながらも競技が始まると日頃の練習振りをととてもよく発揮され、素晴らしい溶接ビードを見せていただきました。

今年で2回目とはいえ選手の技能の向上は目覚しく審査委員会は優劣をつけるのに大変苦労するほどの出来栄でした。

最優秀賞は群馬県立藤岡工業高等学校機械科3年の岡安風樹君が表彰され以下、下記の優秀賞5名、優良賞5名が表彰されました。

表彰式の後、選手を囲んで全員の懇親会を開催し健闘を讃え合い和やかなうちに終了しました。

神奈川県から参加された佐藤愛莉さんと石井優弥君はよく健闘され、石井優弥君は優良賞の表彰を受けました。佐藤愛莉さんは来年に向けて大変意欲を燃やしていました。

全参加選手及び表彰選手

最優秀賞	岡安 風樹	群馬県立藤岡工業高等学校	機械科 3年	朽方 光陽	千葉県立茂原樟陽高等学校	2年
優 秀 賞	滝澤 英宏	埼玉県立狭山工業高等学校	3年	高田 浩二	日本工業大学 駒場高等学校	2年
	篠原 裕樹	栃木県立栃木工業高等学校	機械科 3年	奥山新一郎	山梨県立甲府工業高等学校	3年
	舟久保知輝	山梨県立富士北稜高等学校	3年	飯島 真也	埼玉県立玉川工業高等学校	2年
	小林 健太	長野県中野立志館高等学校	総合学科 2年	白井 遥希	新潟県立新津工業高等学校 工業マイスター科	2年
	中山 和幸	茨城県立下館工業高等学校	3年	高橋 和雅	長野県岡谷工業高等学校	機械科 3年
優 良 賞	本橋 純一	茨城県立下館工業高等学校	3年	水口 大地	東京都立北豊島工業高等学校	3年
	志田 摂弥	新潟県立新津工業高等学校 工業マイスター科	3年	杉山 光祐	サレジオ工業高等専門学校	3年
	小池 辰佳	栃木県立宇都宮白楊高等学校	3年	佐藤 愛莉	神奈川県立横須賀工業高等学校	機械科 2年
	後藤 尚紀	千葉県立千葉工業高等学校	3年	金子 将也	群馬県立利根実業高等学校	3年
	石井 優弥	神奈川県立神奈川工業高等学校	機械科 3年	安達 匡一	サレジオ工業高等専門学校	3年

全22名の内左側の11名が表彰選手です